

第八節 昭和五年

昭和五年度東京美術學校年報

甲 款

概況

昭和五年四月五日本科選科及特別學生入學許可者ノ氏名ヲ本校内ニ揭示發表シ同月十六日官報ニ掲載セリ

同年同月十二日新入生徒ノ入學式ヲ行フ

同年七月六日ヨリ九日ニ至ル四日間各本科三年九十六名圖書師範科三年十七名富士瀧河原陸軍廠舎ニ行軍シ野營演習ヲ実施セリ

同年十月四日本校設置記念日ナリシモ都合ニヨリ繰下ケ十一月四日記念式ヲ行フ

同年十一月二十八日午前九時ヨリ本校運動場ニ於テ各本科並ニ圖書師範科生徒ノ查閱実施セラル

昭和六年三月二十四日午前十時ヨリ本校第四十回卒業式ヲ行ヒ例ニ依リ卒業製作並ニ工藝部成績品ヲ別室ニ陳列シ來賓ノ觀覽ニ供シ翌廿四日廣ク本校關係者及有志等ニ觀覽セシメタリ

規程

昭和五年十一月二十六日本校規則中一部ニ改正ヲ加ヘ即チ入學者生徒ニ對シ保證人制度ヲ新設シ圖書師範科ニアリテハ從來入學志願者ニ對シ檢定料ヲ徴収セザリシモ爾今各本科入學志願者ト同額ノ^(檢)檢定料ヲ徴収スルコトニ改メ又在學中ノ生徒ニシテ修學困難ナル事情ニ陥リタル者ニ對シテハ授業料減免ノ規程ヲ新設シ尚生徒ニ對シ実技上ニ要スル器具ノ使用規定ノ内容ヲ斟酌変更セルハ主

ナル改正事項ナリトス
設備

- 一、日本畫科標本臨時設備費
- 二、西洋畫科標本臨時設備費
- 三、彫刻科標本臨時設備費

〔以下大正九年度以降年報と同文につき省略〕

職員

本年度ニ於ケル職員ノ數ハ學校長一人教授二十九人生徒主事一人助教二十人書記七人生徒主事補一人囑託講師十五人同教員九人同醫師一人副科囑託三人教務囑託二人事務囑託二人教務雇六人事務雇八人ニシテ前年度ニ比スレバ教授ニ一人囑託講師ニ一人教務雇ニ一人事務雇ニ一人ヲ減セリ

生徒

全体ニ於ケル生徒ノ學力操行健康ノ狀態ハ前年度ニ比較シテ大差アルヲ認メズ 新入學生徒ニ在リテモ大要亦同様ニシテ特ニ標準スベキ事情ナシトス
本年度新入學者ハ本科百三十三人選科五人特別學生五人(支那人)圖書師範科二十五人研究生三十一人ニシテ其入學者ノ學力程度ハ本科生ニアリテハ官公立中學校卒業者六十九人私立中學校卒業者三十八人工業學校卒業者十一人工藝學校卒業者六人美術工藝學校卒業者一人実業學校卒業者一人商業學校卒業者五人私立大學豫科一年修了者一人公立高等普通學校卒業者一人ナリ 選科生ニアリテハ中學校未卒業者一人実業補習學校卒業者一人高等小學校卒業者三人ナリ 特別學生ニアリテハ上海藝術大學卒業者一人上

海藝術大學專門部卒業者二人 廣東省台山縣立中學校卒業者一人 江蘇省立師範學校卒業者一人 ナリ 圖書師範科生ニアリテハ官公立中學校卒業者十三人 師範學校卒業者十人 工藝學校卒業者一人 商業學校卒業者一人 ナリ 研究生三十人ハ何レモ本校卒業者ノ入學シタルモノトス 新入學生徒ノ年齢ハ本科生ニアリテハ最高四十二年八月最低十七年十月ニシテ平均十九年二月ナリ 選科生ハ最高二十七年二月最低二十年七月ニシテ平均二十二年九月ナリ 特別學生ニアリテハ最高二十五年四月最低二十一年六月ニシテ平均二十三年二月ナリ 圖書師範科生ハ最高二十六年三月最低十九年三月ニシテ平均二十一年三月ナリ 研究生ハ最高三十七年一月最低二十三年五月ニシテ平均二十六年七月ナリ 生徒ノ入退學ニ就テハ本年度入學者本科百三十三人 選科五人 特別學生五人 圖書師範科二十五人 研究生三十人 再入學者二人 ナリ 退學者ハ病氣退學三人 家事係累退學二十一人 除名處分ノモノ十七人 死亡六人 研究生在學資格消滅十三人 轉科一人 除籍處分ノモノナシ 之ヲ前年度ニ比較スレバ入學者ハ本科生ニ六人 選科生ニ九人 研究生ニ二人 ヲ減ジタルモ再入學者ニ二人 ヲ増シ 圖書師範科生及特別學生ニハ増減ナシ 退學者ニアリテハ病氣退學ニ一人 家事係累退學ニ一人 死亡退學ニ三人 ヲ増シタルモ除名處分ニヨルモノノ二十一人 研究生在學資格消滅ニ十一人 轉科ニ三人 ヲ減シ 其他増減ナシ 生徒ノ員數ハ本年度末ニ於テ之ヲ前年度ニ比スレバ 日本畫科ニ三人 建築科ニ一人 圖案科ニ三人 鑄造科ニ二人 漆工科ニ四人 圖書師範科ニ五人 ヲ増シタルモ 西洋畫科ニ四人 選科生ニ十三人 特別學生ニ

三人 研究生ニ三人 ヲ減シ 彫刻科及金工科ニハ増減ナシ 之ヲ綜合シテ全体ノ差引ノ結果ハ五人ノ減少ヲ示セリ

右各科生徒中 日本畫科及圖書師範科ノ増加シタルハ前年度ニ於ケル退學者ノ本年度ヨリ多カリシ爲メニシテ 建築科 圖案科 鑄造科 漆工科ノ増加シタルハ前年度ニ比シ 募入人員ヲ増加シタルニ起因スルモ 全体ヨリ見テ 差引五人ノ減少ヲ示セルハ 選科生ノ入學者ノ激減ト本年度ニ於ケル退學者ノ多キニ據ル

本年度ノ卒業生ハ本科百二人 選科十七人 特別學生六人 圖書師範科二十人ニシテ 計百四十五人ナリ 前年度ニ比シテ 七人ヲ減少セリ 生徒中 學術品行殊ニ優秀ナルモノヲ選ビ 本校規則第二十六條ニ依リ 特待生トナシ 昭和五年四月一日ヨリ一學年間 授業料ヲ免除セシモノ三十二人アリ 之ヲ前年度ニ比スレバ 四人ヲ増加セリ 圖書師範科生徒ニハ前年度ニ於ケルト同一方法ニ依リ 學術又ハ技藝ノ優秀ナルモノニ等差ヲ付シテ 獎勵金ヲ給與セリ 即チ昭和五年四月廿一日及十月三日ノ二回ニ 同科生徒ノ 競技會ヲ催シ 其成績ヲ考查シ 優秀ナルモノニ 獎勵金ヲ與ヘ 又別ニ 年度末ニ於テ 學術操行ノ優秀ナルモノヲ 選拔シテ 同ジク 獎勵金ヲ付與シタリ

昭和六年三月末卒業スベキ各本科並ニ 選科生徒六十三人ノ 實地修學ノタメ 本年度ノ 初四月九日ヨリ 廿五日迄 十七日間 教授一人 生徒主事一人 助教二人 講師一人 助手一人 雇一人 之ガ 引率又ハ 附添ニ任ジ 奈良、和歌山、京都ノ一府二縣ニ 出張シ 著名ナル 神社佛閣等ヲ 歴觀シテ 美術上ノ 實地研究ヲ ナシタリ

同ジク 昭和六年三月末卒業スベキ 圖書師範科生徒二十人ヲシテ 實地教授法視察研究ノ爲 本年度 初四月二十一日ヨリ 同月三十日迄 十

日間助教二人之ヲ引率シ京都大阪、奈良、三重ノ二府二縣ニ出張シテ視察研究ヲ爲サンメタリ

本校ニ於テハ生徒皆通學ナルヲ以テ寄宿舎ニ関シテ申報スベキ事項ナシ

奨來施設上重要ト認ムル件

女子部新設ノ件〔大正十年度以降報告と〕
〔ほほ同文につき省略〕

圖書師範科教室新設ノ件〔昭和四年度報告と〕
〔同文につき省略〕

大講堂新設ノ件〔同右。〕

本校付属奈良研究所設置ノ件〔大正十二年度報告とほ〕
〔ほ同文につき省略。〕

雜件

生徒實驗ノ資ニ供スルタメ諸所ヨリ依頼ヲ受ケ製作ニ從事シタルモノノ中重ナルモノヲ舉グレバ左ノ如シ

依頼製作一覧

品目	数量	受託年度	竣工年度	依頼者
蒔繪書棚	壹箇	昭和四年度	昭和五年度	宮内省
置物飾棚	壹箇	昭和五年度	同	華族會館
花盛器	四箇	同	同	農林省
釣燈籠	壹對	同	同	宮内省
御文付釣燈籠	壹對	同	同	宮内省
				度課長
				宮内省内藏寮

『東京美術学校校友会月報』記事抜粹

學校近事 卷号 二八—八。S・五・三・一〇日

職員辭令

昭和五年一月十三日

教授 松岡 輝夫

歐米各國へ出張ヲ命ス(文部省)
同 年同月十八日

片岡照三郎

本校漆工科ニ課スル彫鏤實習ヲ一學期間(昭和五年一月ヨリ同年三月マデ)臨時囑託ス(本校)

同 年同月二十三日

雇 榎本龜次郎

同 年同月二十八日

助教授 松田 權六

學術實地指導ノ爲神奈川縣へ出張ヲ命ス
同 年同月二十九日
但往復共一日間ノ事

同 山崎覺太郎

學術研究ノ爲愛知縣下へ出張ヲ命ス
同 年二月一日
但往復共一週間ノ事

教授 六角注多良

同 年同月三日

教授 森田龜之助

校長 正木 直彦
教授 六角注多良
同 津田 信夫
助教授 海野 清
講師 香取秀治郎